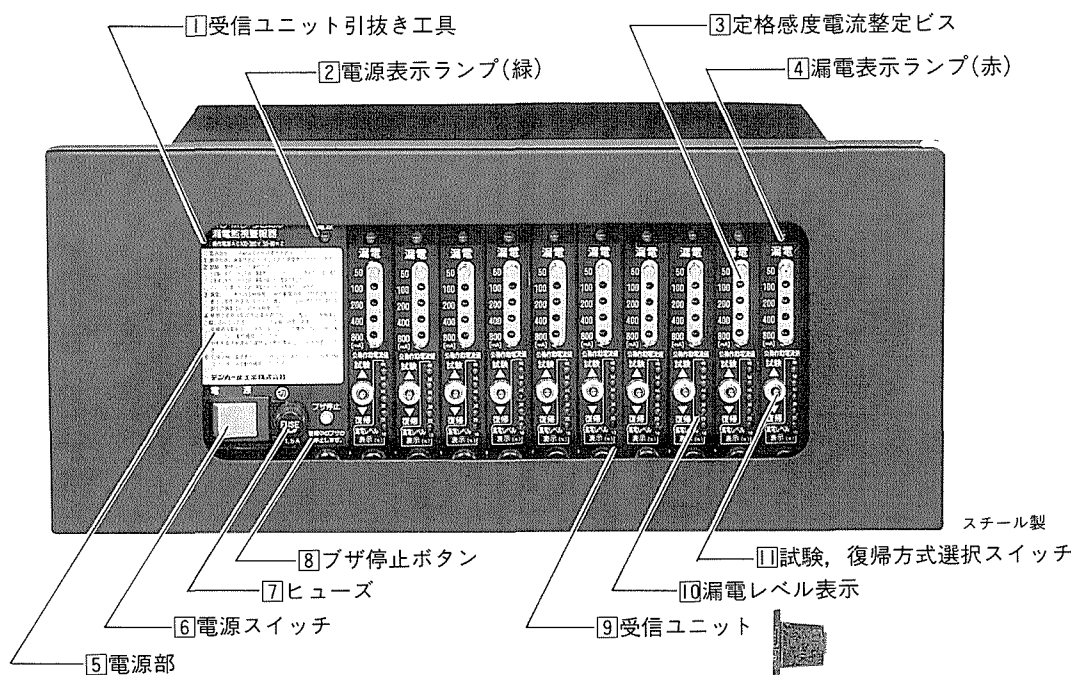


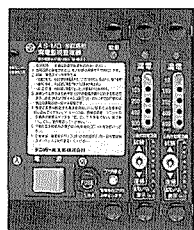
多回路形漏電監視警報器 ■ AS-MD型

10回路までの電路の漏電を同時に監視できます。
漏電レベル表示付ですと最小5mAの
漏れ電流から監視できます。



特長

- ①セレクト方式と異なり各回路が個々に独立して動作し、感度の設定範囲が50～800mA(5タップ)と広く、主幹、分岐など監視回路に適した感度の設定ができます。
- ②受信ユニットはプラグイン構造なので、前面より容易に引出し、交換、調整ができます。
- ③「漏電レベル表示付」に付いては常時、電路の漏洩電流の概略値が発光ダイオードの点灯の個数でわかります。定格感度電流値に対する割合で10%きざみに10%から60%まで5個の発光ダイオードで表示します。
- ④警報は各回路ごとに手動復帰と自動復帰ができます。手動復帰方式にすれば漏電がなくなっても、事故回路の表示が継続します。
- ⑤警報ブザはブザ停止ボタンを押すことにより停止できます。ブザ停止中でも新しく別回路に漏電が生じた場合は、ブザが再起動し、警報するので、別の電路での事故発生も見逃しません。ブザ停止は外部接点で操作できます。
- ⑥電源部と受信ユニットを埋込型金属ケースに収納し、接続はすべて裏面端子、必要な操作はすべて前面パネル上でできます。
- ⑦検知増幅回路にはIC、表示には発光ダイオードを使用し長寿命、高信頼性です。又、変流器は100A～1200Aと種類が豊富で互換性があります。



各部の説明

- ①受信ユニット引抜き工具 ●受信ユニット(プラグイン式)をこの工具で引出して下さい。
- ②電源表示ランプ(緑) ●警報器の電源が入っていることを示します。点灯しない場合はヒューズ、電源スイッチ等を確認して下さい。
- ③定格感度電流整定ビス ●設定する電流値のネジ穴に確実に整定ビスをネジ込んで下さい。整定ビスがゆるんだ状態では50mA感度となります。注)設定する場合、必ず電源スイッチを OFF にして下さい。
- ④漏電表示ランプ(赤) ●漏電が発生するとランプが点灯します。
- ⑤電源部
- ⑥電源スイッチ ●警報器の制御電源を ON OFF できます。ヒューズ取替時、定格感度電流値の変更時に OFF にして作業して下さい。
- ⑦ヒューズ ●ガラス管ヒューズMF51($\phi 5$), 1.5A
- ⑧ブザ停止ボタン ●警報中に押すとブザのみ停止します。各ユニットの警報が復帰すれば、ブザ停止も自動復帰いたしますので、次に漏電が生じたときもブザは鳴ります。
- ⑨受信ユニット ●プラグイン方式ですのでメンテナンスが容易です。分割形変流器には分割形専用ユニットをお使い下さい。
- ⑩漏電レベル表示 ●現在の漏電状態を定格感度電流値に対する割合で順次点灯します。漏電レベル表示なしも受注仕様として可能です。
- ⑪試験、復帰方式選択スイッチ
 - 試験(上方向)：本体の動作確認及び変流器の導通試験ができます。
 - 手動復帰(中立)：その回路に漏電が生じたとき、警報が自己保持します。
 - 自動復帰(下方向)：漏電が発生したとき警報し漏電がなくなれば警報が自動復帰します。(注)手動復帰方式の復帰スイッチと兼用しています。